

科目	国語 I a (Japanese Language and Literature I a)		
担当教員	土居 文人 教授		
対象学年等	システム情報工学科・1年・前期・必修・1単位【講義】(履修単位)		
学習・教育目標	教育目標2		
授業の概要と方針	一般教養としての国語の基礎的学習をおこなう。現代文は、論理的文章(評論)と文学作品(小説)の読解法と鑑賞法を学習し、思考力・判断力・共感力・表現力を養う。また、コミュニケーションに関する知識と技能を身につけ、漢字などの語彙的知識を身につける。古文は、古典日本語(古語)の学習をおこなうとともに、古典文学作品の読解と現代語訳の作成を通じて日本語と日本文化についての理解を深める。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	評論・小説の基本的読解方法・鑑賞方法を習得し、その方法によって評論・小説を読解・鑑賞できる。		評論・小説を的確に読解・鑑賞できているか、中間試験と定期試験で評価する。
2	文意の明快な文章を書くための知識と方法を習得し、文意の明快な文章を書ける。		明快な文章を書くための知識と方法が身についているか、中間試験と定期試験で評価する。
3	古典日本語(古語)に関する知識を習得し、日本の古典文学作品を現代語訳できるようになる。		古典日本語(古語)に関する知識が身についているか、日本の古典文学作品を現代語訳できるか、中間試験と定期試験で評価する。
4	漢検3級程度の漢字表現を使いこなせるようになる。		漢検3級程度の漢字表現の読み書き能力について、中間試験と定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験100% として評価する。中間試験と定期試験の平均点を試験成績とする。100点満点で60点以上を合格点とする。		
テキスト	「現代の国語 改訂版」(筑摩書房) 「言語文化 改訂版」(筑摩書房) 「漢検3級 漢字学習ステップ 改訂四版」(漢字能力検定協会)		
参考書	なし		
関連科目	国語Ib, 国語IIa, 国語IIb.		
履修上の注意事項	なし。		

授業計画(国語Ⅰa)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	日本語の特徴/漢字の練習	プリント資料を配布して、日本語の特徴についての基本的知識を学ぶ。漢検3級の漢字テキストを使用して漢字の練習をおこなう(漢字は、原則として毎週実施)。
2	7～8世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して、8世紀末頃の奈良時代末期成立とされている「万葉集」を読み、当時の日本語の文章と感性について知る。
3	8～9世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して、平安時代初期成立の「竹取物語」を読み、当時の日本語の文章と感性について知る。
4	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して、評論を読解する。
5	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して、評論を読解する。
6	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して、評論を読解する。
7	評論を読む	教科書「現代の国語」を使用して、評論を読解する。
8	中間試験	前期中間試験を実施する。
9	10世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して、10世紀中頃の平安時代に書かれた日記の「土佐日記」を読み、当時の日本語の文章と感性について知る。
10	10世紀の日本語で表現された文学作品を学ぶ	教科書「言語文化」を使用して、10世紀中頃の平安時代に書かれた日記の「土佐日記」を読み、当時の日本語の文章と感性について知る。
11	レトリックとは何か	プリント資料を配布して、文学作品を理解する上で必要な比喩などのレトリックについて学ぶ。
12	小説を読む	教科書「言語文化」を使用して、小説を読解する。
13	小説を読む	教科書「言語文化」を使用して、小説を読解する。
14	小説を読む	教科書「言語文化」を使用して、小説を読解する。
15	小説を読む	教科書「言語文化」を使用して、小説を読解する。
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する。	